か“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

東京目黒ワイズメンズクラブ

ホームページ： http://www.asahi-net.or.jp/~uu9y-ktu/index.html
E-mail： meguro-ys@yahoogroups.jp
156-0051 世田谷区宮坂 3-23-2 東京 YMCA 南センター TEL 03-3420-5361 FAX 03-3420-5363

２０１６年 8月号 No．６００

会　　長　村野　繁　ＥＭＣ　村野絢子
副 会 長　村野絢子　ブリテン　福島　正（編集）
書　　記　福島　正　ブリテン　村野　繁（印刷）
会　　計　根本幸子　担当主事　山梨雄一

クラブ会長　**村野　繁**（東京目黒）　**50 周年を迎えて再出発**
東新部部長　**細川　剛**（東京）今チャレンジ、明日に向かって ワクワク東新部
東日本区理事　**利根川恵子**（川越）明日に向かって、今日動こう
アジア地域会長 Tung Ming Hsiao（台湾）ワイズ運動を尊重しよう
国際会長　Joan Wilson（カナダ）　私たちの未来は、今日より始まる

８月の強調月間

・ＣＳ（Community Service）
地域社会奉仕事業
東日本区では現金拠出(基準：1,250 円/１人）およびお年玉年賀切手シートの提供によってＣＳ資金を集めています。

今月の聖句

わたしは平和をあなたがたに残し、わたしの平和を与える。わたしはこれを、世が与えるように与えるのではない。心を騒がせるな。おびえるな。
ヨハネによる福音書　14 章 27 節　福島正／選

８月 本例会

日時　８月 27 日(土)11 時 30 分～15 時 30 分
会場　村野会長宅　杉並区永福 3-30-1
会費　1,000 円
出欠連絡は村野繁会長の携帯 090-1547-4396 へ

	司会	福島　正
開会点鐘	会長	村野　繁
ワイズソング		一　同
聖書朗読・ひと言・お祈り		司 会 者
ゲスト・ビジター紹介	会長	村野　繁
ワイズランチ		
大いに語ろう		みんなで

「目黒 50 年に関わった人たちの・・・物語」
今井館、都立大学駅、中目黒駅へ、
そして南センターへと変遷した歴史を語る

みんなで唄おう　♪ 夏の思い出♪		一　同
閉会点鐘	会長	村野　繁

≪ブリテン　６００号達成！≫

1966 年５月８日、日本区で 40 番目、世界で 763 番目となる目黒クラブが誕生した。チャーターナイトの会場は東京ＹＭＣＡ新館３階、冨尾道隆日本区理事(神戸)を迎えて行った。以後、５年毎に記念例会を重ねてきた。

５周年記念会　目黒区福祉センター（碑文谷）
10 周年記念会　目黒ブランチ（八雲ビル）
15 周年記念会　〃　（　〃　）
20 周年記念会　山中湖キャンプ（ＹＭＣＡ）
25 周年記念会　妙高高原ロッジ（ＹＭＣＡ）
30 周年記念会　リザンシーパークホテル（沖縄）
35 周年記念会　聖パウロ教会（祐天寺）
40 周年記念会　Ｙ’ｓレストラン（新宿西口）

この間、例会会場の移転数回、担当主事の目まぐるしい交代、そして、目黒ブランチ借館を返上して南センターに吸収合併されるを機に例会会場が経堂の南センターに移った。ルノアール西新宿の会議室も利用したこともあった。目黒ブランチが既に無く、唯一残っている目黒ワイズの名が消えない事を望んでいるが。

７月例会記録

在籍会員数	5名	メン	5名
内・功労会員数	(1 名)	メネット	1 名
メーキャップ	0 名	ビジター	6 名
出　席　率	100%	ゲスト	1 名
ＹＹ指数	260%	本例会出席者数	13 名

＝＝＝　トライアングル　ＤＢＣ　＝＝＝

（姫路クラブ）	（那須クラブ）	（東京目黒）
	お誕生日おめでとう	
29 阪田恵さん	＊　＊	＊　＊
30 馬越顕さん		
	結婚記念日おめでとう	
＊　＊	＊　＊	＊　＊

第二（事務）例会
8/27 本例会の中で行います

８月の強調月間テーマ
ＣＳ
　東日本区の地域奉仕事業方針の中、部の強化・活性化のため、部主導で複数クラブ合同でのＣＳ活動を地域にアピールし、既存ＣＳの見直し、規模拡大ミーティング奨励と参加を重点事業とします。

東日本区地域奉仕事業主任
加藤博（熱海グローリー）

これからの　行　事　予　定

8/4～7　　第 72 回国際大会（台湾・台北）
8/27(土)　東京目黒クラブ本例会&第二例会
（村野繁・絢子さん宅）
9/14(水)　東京目黒クラブ本例会&第二例会
（南センター　２階会議室）
10/8(土)　第 20 回東新部大会（ＡＹＣ）
10/22(土)～24(月・祝)　２泊３日
シニアＹＹＹキャンプ（山中湖センター）

７月　本例会　報告

７月 13 日（水）　13:30～15:30
南センター　３階ホール
　公式訪問の細川部長を迎え、山梨主事の司会で定刻開会。村野会長の点鐘、ワイズソング斉唱、司会者による聖書朗読と一言メッセージ、会長がビジター紹介をした。テイータイムの間に山梨主事がＹＭＣＡ報告。

　まず細川さんは部長主題「今チャレンジ、明日に向かってワクワク東新部」と活動方針を丁寧に説明された。御自身、宝塚ボーイスカウトの縁で国際書記長だった西村隆夫さんに誘われてワイズに入会したこと、最初の役務は 1997 年東新部初代部長持田二郎さんの部書記を担当、今期図らずも第 20 代部長の栄誉を担う、と挨拶された。
　人数だけが活動のバロメーターではないが、1997 年９クラブ 179 名でスタートした東新部は 19 年間に４クラブが発足し５クラブが解散、一時は８クラブ 99 名となった時もあった。
　第１回東新部部会は、国際オリンピック記念青少年センターで 200 名を超えた。今年第 20 回部会大会は、在日本韓国ＹＭＣＡで一般公開講演「今チャレンジ、子どもをマラリアから守ろう」を実施。このプログラムを軸に楽しみながら協働と共感をもって支えあう「ワクワクする東新部」を目指していきたいと述べられた。
　同行の事業主査・神保さんから「爽やかな汗をみんなで流そう」と地域奉仕活動１クラブ１事業にチャレンジを。太田さんは「会員増強の課題と対応策」９クラブそれぞれに獲得人数目標を示し、新潟に新クラブ設立の構想を。村野部大会実行委員長から「ワイズ 100 名、一般 150 名」を集め、名称も部大会として盛大なお祭りしよう。大槻さんは「ユースの力をワイズの活力に」と自身のユース体験からユースのパワーと活動の存在を伝えたい。長澤さんは会員減少、老齢化等クラブ運営の困難な課題を乗り越えるための手伝いが「ＬＴ委員」の役割と考え対応したい。伊丹さんは「部長の経験を次年度に伝承」を掲げ、今年 10 月にシニアＹ・Ｙ・Ｙキャンプを山中湖で実施すると抱負を述べられた。
　７月の歌は山梨雄一さん選曲「あめふり」を歌い、閉会点鐘により定刻終了した。

出席者【目黒】根本、福島、村野繁、村野絢子、山梨、【メネット】福島、【ビジター】細川剛、長澤弘、大槻展子（東京）、伊丹一之、神保伊和雄（東京むかで）、太田勝人（東京世田谷）【ゲスト】福島宣子、計 13 名。出席率 100%。ＹＹ、指数 260%、
＜大槻さんは仕事で早退されたため、集合写真に入れず残念でした。＞

７月第二（事務）例会　報告

7月13日（水）15:45～16:15
南センター3階ホール
出席＝村野繁、村野絢子、山梨、福島、4名
山梨担当主事が管理職養成コース・ステップ２を受講（9/20－12/3）のために長期間、南センターから離れる。この間、木村さんが東陽町本部からのアドバイスを受けつつ業務を代行する事を含め、不在中の諸行事関係の説明と協力要請があった。
＜卓話予定＞
　8/27(土)　目黒50年、関わった方々と共に思い出を語る集い（納涼例会）を村野さん宅で開く。
　9/14(水)　西川喬也さん（村野会長の友人）
＜その他予定＞
・国際大会（台湾・台北）　村野会長参加予定
・12/10（土）田園調布地域の子どもたちのクリスマス会のため田園調布教会に会堂借用をお願いする。

東京西クラブ 40 周年記念例会・祝会

7 月 16 日（土）13:30～17:30
会　　場　　中野サンプラザ　ブロッサム＆スカイ
会　　費　　7,000 円
プログラム　第１部　記念例会
　　第２部　祝　　会
記念講演　　今泉　清氏
　　「ラクビーのリーダーシップ、チームワーク、ポジテイブ思考」

東京西クラブが 40 年前にチャーターした会場と同じ中野サンプラザで開かれました。東京西の人脈の広さから出席者は 140 人。IBC 台北セントラルから４人、DBC 京都ウエストから６人、大阪西から７人、熊本西から１人の参加がありました。東日本区理事利根川恵子ワイズは会計を伴い川越と所属する関東東部から、富士山部からも東新部からも、チャーターしたばかりの石巻広域からも、所属のあずさ部からもと多彩でした。記念講演は今泉清さん。高校時代からラグビーで活躍し、大学、企業チームでもプレイされました。現在は人材育成コンサルタントとして組織研修、講演で忙しく金沢から駆けつけたそうです。ティーチングでなく、コーチングの話でした。記念祝宴は武藤聡子さんのウエルカムピアノコンサートで始まりました。祝辞はスポンサークラブの東京武蔵野多摩と東京目黒から始まり IBC 台北セントラル、DBC 大阪西と続きました。東京西が発足当時からクラブ事業として東京 YMCA 国際ホテル専門学校の留学生に奨学金を出しており、今年度の留学生４人に奨学金贈呈式と、日本語スピーチがあり、日本のホテルで働いている卒業生３人も招かれていました。目黒から村野繁と村野絢子２人が出席しました。

東京多摩みなみクラブ チャーターナイト

7 月 17 日(日)16 時～19 時
会　　場　　Conti(コンティ)多摩センター
会　　費　　7,000 円
プログラム　　第１部 国際協会加盟認証状伝達式
　　第２部　記念プログラム
　　第３部　祝会

日曜日のため 16 時開会。スポンサークラブは東京まちだ、東京コスモスの両クラブ。協力クラブは東京武蔵野多摩、東京八王子でした。新クラブ発足のきっかけは２０１５年の在京新年会を東京まちだと東京コスモスが共同ホストで多摩センターの桜美林大学で開いたときに閃いたそうです。

田中博之ワイズ(東京)の仕事場が多摩センターであり、その友人をはじめ東京コスモスの伊藤幾夫ワイズも新クラブに移籍を予定し、宝塚の縁が東京多摩みなみクラブ設立にも絡まっていました。クラブメンバーは１５人でスタートしました。

認証状伝達式は東日本区利根川恵子理事の式辞で行われました。東日本区６２番目のクラブです。祝辞は多摩市社会福祉協議会常務理事川田賢司氏、東京 YMCA 副総主事菅谷惇氏、廣田総主事はビデオ発言でした。３人目は東新部部長細川剛ワイズでした。

２部祝会は集合写真撮影から始まり、祝辞、食前感謝に続いて乾杯は東日本区次時期理事宮内友弥ワイズ、軽食・懇談と続きました。アトラクションはクラブ会員の友人によるゴスペル(中村恵美さん)とフルート(鴨川久美子さん)演奏が花を添えました。
参加者１００人越えを目標に新クラブ書記田中博之さんが懸命に尽力され、２日前に９９人だった人数が当日は１０１人になり、何よりの祝賀でした。

東新部第１回評議会報告

7 月 23 日(土)13 時半～、東京 YMCA 社会体育・保育専門学校において開かれた。
出席者 33 人、委任状 11 人で評議会は成立。主な議案審議は③次期 17/18 の部大会準備委員長は輪番で東京まちだクラブになった。目黒ができるのだから。④15/16 決算報告特別会計から 30 万円繰り入れたが、176,063 円特別会計に戻した。⑥16/17 予算案修正、部員数確定が 90 人になり修正。⑦評議員数の変更５人から３人は⑧部則検討委員会の審議内容にしてもらうこととなった。⑩東新部次期クラブ役員研修会を第３回評議会と合同とする。
部長所信表明で、目黒７月例会でも聞いたように宝塚の関わりとワイズ活動をアピールしようといわれ、その結果が今回の部大会の２部に表れている。目黒から会長村野繁が出席、欠席議員は委任状を提出した。

☆にこにこメッセージ☆

伊丹一之さん（東京むかで）
東京むかでクラブは、山中湖センターでシニアＹＹＹキャンプを始めます。ファミリーキャンプで経験を積んだ目黒クラブの方に是非参加していただきたいと思います。

太田勝人さん（東京世田谷）
高齢化時代に入り、昼間に行う目黒クラブの例会の意義はあると思います。もっとＰＲして会員増強に力を入れ、50 周年を明るく迎えられるようご尽力ください。

加藤祐一さん（元メンバー）
8/27 の納涼例会に出席いたします。楽しみにしています。納涼例会の前に村野さん宅に到着して、目黒の過去の写真をコピーしてビデオに反映したり、福島さんにも一緒に、静かな場所で NHK 風にじっくり目黒のことを語っていただき、収録出来ればと思っています。目黒クラブの栄光を語り、その終結のとき、何をお考えになっているのか、どんな思いなのか、お二人に語っていただきたいのです。

根本幸子ワイズ
去年７月に天国に旅立った主人の１周忌を先日無事に済ませました。思えばこの１年間、無我夢中で暮らして参りました。最近少しずつ取り戻しつつあります。皆さんに支えられて参りました。本当に感謝です。

村野 繁ワイズ
東新部新部長のクラブ訪問月。「力強く外に向かってアピールしよう」が具体的に部大会の内容になっています。ぜひ成功させましょう。また、毎回出席している部大会準備委員会で、準備中の“目黒クラブビデオ”について報告したところ、楽しい事業に悲しいアピールは欲しくないとの意見が多数を占め、目黒クラブの初めてのCS高齢者の居場所提供プログラムを始めましょうよとアドバイスを受けました。

福島 正ワイズ
村野会長は今期、東新部部大会実行委員長として7月の部長全クラブ公式訪問に同行予定、部大会のアピールに務められる。全クラブ訪問されるのは細川部長と太田会員増強事業主査と村野さんの3人だけ。ご苦労と熱心さに敬服しています。

山梨雄一主事の熊本出張報告

熊本・御船町スポーツセンター避難所運営サポートに６月20～23日の４日間、熊本 YMCA が指定管理を受けて運営を行っている「御船町スポーツセンター」へ避難所運営サポートに行って参りました。震災以降、避難所の様相は刻々と変化し、同期間中は 180名～200 名程度の方々が、避難生活を送られていました。梅雨に入り、集中的に雨が降る事もあり、河川の氾濫や土砂災害など気持ち的には休まる日はない状況が続いています。その中で班を形成し、班長、掃除係、配食係など皆さんで協力をしながらの生活がスタートをしています。朝６時半には朝陽を浴びて恒例のラジオ体操から始まります。食事については地元の料理屋による仕出し食事が配食され、子ども達は学校へ、大人は仕事へ、シニアの方々は、ゆっくりと過ごされています。当然ながらこの共同生活は日常とは異なる環境下での生活ゆえ、些細なイザコザも出て来ているものの、 YMCA のスタッフだからこそ出来る丁寧な対応がとても暖かく感じます。コミュニティー作りを得意とし、大切にする YMCA だからこそ行える避難所運営が今、この瞬間も行われています。
現在、御船町スポーツセンターは、フルタイムスタッフの体制を考えるとかなり苦しい環境の中での働きをされています。彼らもまた被災者の一人でもある事を覚え、同じ YMCA の仲間として、サポートを継続して行っていければと思います。

YMCAニュース （山梨雄一）

熊本地震発生から３カ月を迎えた７月14日(木)に復興支援の為の街頭募金活動を経堂駅前にて実施致しました。南センター活動委員３名、学生リーダー８名、スタッフ２名が集い約１時間の呼び掛けで19,095円の募金が寄せられました。
また今年も夏休みのシーズンプログラムがスタートをし、7/17-7/18にて「はじめてのおとまり」キャンプが実施されました。その名称の通り、年少から年長の幼児を対象に初めて保護者から離れて山中湖センターでの１泊２日、豊かな自然と優しいリーダーに囲まれて、そして次はどんな楽しいことが待っているんだろうといつもわくわくしながら、過ごすことが出来ました。特にこのプログラムは毎年人気があり、今年度も定員数を５名増やして35名の子ども達が参加しました。ＹＭＣＡならではの「野外教育キャンプ経験」プログラムとして高い人気を誇っています。

■YMCA・南センター・今後のスケジュール
8/27(土)東京 YMCA 夏祭り（東陽町センター）
8/5～7 妙高・やまのキャンプ（年中～小３）
8/9～11 赤城アドベンチャー （小１～小６）
8/16～19 道志・ネイチャー （小１～小６）
8/23～25 道志・ワンダー （年長～小３）
デイキャンプ
8/2/3(年少～年長)、8/3(小１～小６)、
8/5/6(年少～年長)、8/9～11(年少～小２)
8/23/24(年少～小２)、8/29/30(年少～年長)
9/5(月)～6(火)南センターリーダー主催
トレーニングキャンプ（川井キャンプ場予定）
9/9(金)～11(日)第29回ﾕｰｽﾎﾞﾗﾝﾃｨｱﾘｰﾀﾞｰｽﾞ
ﾌｫｰﾗﾑ（山中湖センター）
9/12(月)～14(水)東京ＹＭＣＡリーダーズ
キャンプ（山中湖センター）

8/1(月)～31(水)南センター（夏季特別休館）

８ 月 の 歌

ＤＢＣ姫路クラブ阪田悦規さん選曲
『夏の思い出』 江間章子作詞・中田喜直作曲

夏がくれば 思い出す
はるかな尾瀬(おぜ) 遠い空
霧のなかに うかびくる
やさしい影 野の小径(こみち)
水芭蕉(みずばしょう)の花が 咲いている
夢見て咲いている水のほとり
石楠花(しゃくなげ)色に たそがれる
はるかな尾瀬 遠い空

夏がくれば 思い出す
はるかな尾瀬 野の旅よ
花のなかに そよそよと
ゆれゆれる 浮き島よ
水芭蕉の花が 匂っている
夢みて匂っている水のほとり
まなこつぶれば なつかしい
はるかな尾瀬 遠い空

あとがき

目黒のブリテンが600号を迎えました。よくぞここまで続いたものだと感慨に耽っています。この50年間にワイズやブランチ活動、夏の家族キャンプ、早や起きサイクリングなどに多くの方が協力し支えてくださいました。8/27には懐かしい方々に声をかけ集まり、目黒クラブ50年祝賀と共にこれからのことを話し合います。常に守り導いてくださった神に感謝を献げ、どのような結論が示されるかと祈りながら臨みます。
（ＴＦ）